

エコアクション21 環境経営レポート

第74期

(2023年9月～2024年8月)



2024年11月20日発行

武田産業株式会社

目 次

1.	組織の概要	P1
2.	対象範囲(認証・登録範囲:全組織、全活動)	P1
3.	環境経営方針	P2
4.	環境経営目標とその実績	P3
5.	環境経営計画及びその取組結果と評価、 並びに次年度の取組内容	P4
	(1)二酸化炭素排出量の削減	P4
	二酸化炭素排出量の原単位評価	P5
	(2)廃棄物排出量の削減	P6
	(3)水使用量の削減	P6
	(4)環境にやさしい製品の販売	P6
6.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟等の有無	P7
7.	代表者による全体の評価と見直し・指示	P7
	(1)取組の全体評価	
	(2)来期計画の見直し・指示	
8.	環境実施体制	P8

1. 組織の概要

- (1) 事業者名 武田産業株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 坂東 憲一
- (2) 所在地 本社・福岡営業所 〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原2781
大 阪 支 店 〒581-0815 大阪府八尾市宮町3-2-30
佐賀営業所 〒840-0027 佐賀市本庄町大字本庄一本黒木13
大分営業所 〒870-0915 大分市花高松1-3-30
鹿児島営業所 〒891-0115 鹿児島市東開町3-127
熊本営業所 〒861-8019 熊本市東区下南部1-3-45
三重営業所 〒518-0602 三重県名張市西田原字水越459-1
長崎営業所 〒851-2107 長崎県西彼杵郡時津町久留里郷1457
川崎出張所 〒210-0025 神奈川県川崎市川崎区下並木68-10 103号室
- (3) 環境管理責任者氏名 責任者 本社・福岡営業所 常務取締役 中谷 勝彦 TEL: 092-621-7561
及び担当者の連絡先 担当者 本社・福岡営業所 経理部長 山田 文雄 TEL: 092-621-7561
E-mail: f.yamada@takeda-sangyo.co.jp
" 大 阪 支 店 マネージャー 衛藤 隆史 TEL: 072-999-0541
" 佐賀営業所 所 長 中西 真 TEL: 0952-24-0351
" 大分営業所 所 長 森山 貴史 TEL: 097-558-4073
" 鹿児島営業所 所 長 高崎 裕也 TEL: 099-269-7163
" 熊本営業所 所 長 日野 克範 TEL: 096-386-5140
" 三重営業所 所 長 村上 誠実 TEL: 0595-66-1201
" 長崎営業所 所 長代理 山口 耕太郎 TEL: 095-882-5050
" 川崎出張所 所 長 一瀬 健一 TEL: 044-246-5045
- (4) 事業の内容 ネジ製品及び精密機器部品の販売
- (5) 事業の規模 売上額 44億8,500万円
- | 区分 | 本社・福岡営業所 | 大阪支店 | 佐賀営業所 | 大分営業所 | 鹿児島営業所 |
|----------------------|----------|------|-------|-------|--------|
| 従業員(人) | 15 | 17 | 13 | 12 | 10 |
| 床面積(m ²) | 1,453 | 791 | 544 | 513 | 494 |
- | 区分 | 熊本営業所 | 三重営業所 | 長崎営業所 | 川崎 | 全社 |
|----------------------|-------|-------|-------|----|-------|
| 従業員(人) | 15 | 7 | 7 | 2 | 98 |
| 床面積(m ²) | 499 | 187 | 529 | 46 | 4,658 |
- (6) EA21期間 9月～翌年8月

2. 対象範囲(認証・登録範囲:全組織、全活動)

- (1) 事業者名 武田産業株式会社
- (2) 対象事業所 本社・福岡営業所、大阪支店、佐賀営業所、大分営業所、鹿児島営業所、熊本営業所、三重営業所、長崎営業所、川崎出張所
- (3) 活動 ネジ製品及び精密機器部品の販売
- (4) 対象外事業所 なし

3. 環境経営方針



武田産業株式会社は、工業用ファスナー製品及び精密機器部品の販売を通じてさまざまな製品の製造を支えています。

しかし、これらの企業活動が環境に影響を与えることを認識し、お客様の期待を超える製品の提供に努めると共に、環境保全への取り組みを経営の重要課題と位置付けて活動を行います。

- 1.環境関連の法規制等を遵守します。
- 2.事業活動において、以下の項目を重点項目として環境保全活動に取り組みます。
 - ①電力、燃料等の効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します
 - ②廃棄物の削減とリサイクル化を推進します
 - ③節水に配慮します
 - ④環境にやさしい製品の購入・販売をします
- 3.環境経営目標を設定し、目標達成活動を継続的に推進します。

2010年10月1日 制定

2018年10月5日 改訂

武田産業株式会社

代表取締役 坂東 憲一

4. 環境経営目標とその実績

- ・環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、次の4項目を本社、支店、営業所で設定しています。
- ・第74期の会社全体としてとりまとめた環境経営目標の達成状況は、以下のとおりです。
- ・当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量はわずかに目標を達成出来ませんでした。
- ・今後は主な排出源のガソリン・軽油・電気の更なる効率的使用に努めます。
- ・環境にやさしい製品の販売目標については、製品PRを更に進めてまいります。

環 境 経 営 目 標		目標	項目	単位	基準年度	第72期		第73期		第74期		(74期) 目標達成 状況
		実績			第71期 (2020.9～2021.8)							
①	二酸化炭素排出量 の 削減	目標	CO2	kg-CO2	－	316,030	99%	312,820	98%	309,640	97%	／
			電気	kWh	－	207,580	99%	205,480	98%	203,380	97%	
			ガソリン	L	－	80,940	99%	80,110	98%	79,280	97%	
			軽油	L	－	8,730	99%	8,640	98%	8,560	97%	
			灯油	L	－	2,182	99%	2,159	98%	2,138	97%	
		実績	CO2	kg-CO2	319,211	315,262	100.2%	309,457	101.1%	318,927	97.1%	△
			電気	kWh	209,676	231,025	89.8%	214,913	95.6%	188,324	108.0%	○
			ガソリン	L	81,739	75,067	107.8%	73,913	108.4%	82,432	96.2%	△
			軽油	L	8,818	9,385	93.0%	11,104	77.8%	11,740	72.9%	×
			灯油	L	2,204	2,154	101.2%	2,201	98.1%	2,512	85.1%	△
②	廃棄物排出量の 削減	目標	事業系 一般廃 棄物	kg	－	3,592	99.0%	3,555	98%	3,518	97%	／
		実績	3,627		3,211	111.8%	3,291	108.0%	3,808	92.4%	△	
		目標	リサイ クル廃 棄物	kg	－	－	8,003	99%	7,922	98%	／	
		実績	－		8,084	10,808	74.0%	6,501	121.9%	◎		
③	水使用量の削減	目標	－	㎡	834.5	826	99.0%	829	99.3%	817	97.9%	／
		実績	－			753.5	109.0%	717	115.6%	747	109.4%	
④	環境にやさしい製 品の販売 (三 価製品在庫比率を 毎年1％上げる)	目標	－	％	－	45	在庫比 率1%UP	46	在庫比 率2%UP	47	在庫比 率3%UP	／
		実績	－			43.3	46	102%	48.4	105.2%	51.4	

※目標値を環境の変化、実情に対応するため、改めて71期の実績値を基準値としました。

※目標値(%)は基準年度(第71期)に対する比率を示し、実績値(%)は目標値に対する達成率(削減目標では目標値/実績値、増加目標では実績値/目標値)に対する比率を示しています。

※二酸化炭素排出削減において、購入電力の排出係数は0.479kg-CO2/kwh(2020年度九州電力(株)調整後排出係数)を使用しました。

※当社の事業年度は9月～翌年8月です

※当社は化学物質の使用はありません

※達成状況: ◎…121%以上、○…120～100%、△…99%～80%、×…79%以下

※ガスの二酸化炭素排出実績については排出量が全体の0.1%未満と軽微なため、実績から除外しています。

※72期より廃棄物排出量について事業系一般廃棄物(可燃ごみ)とリサイクル廃棄物に分けて項目を設定しました。

リサイクル廃棄物の目標値は72期を基準値とし73期から設定しています。

※水使用量の削減の73期、74期の目標値で熊本、三重、長崎は環境変化により72期の実績値で目標値を見直したため、71期より各対比1%減となっていません。

※軽油の未達成…売上が増加した分、トラックの輸送距離も伸び達成率は×となりました。

※事業系一般廃棄物の未達成…カタログ等を大量廃棄したため達成率は前期より悪くなりました。

5. 環境経営計画及びその取組結果と評価、並びに次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減(目標:第71期排出量の3%削減)

取組対象	実施状況	活動計画	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
1 電気使用量の削減	○	・エアコンの設定温度を決め実行する(夏季…26～28℃、冬季…20～22℃)(設定温度シール貼付け意識を徹底) ・不要な電燈は消灯する (節電、消灯シールを貼付け節電意識を徹底)	○	目標達成率108%で達成できました。LED設置、太陽光発電の効果が出ています。
2 ガソリン・軽油・灯油使用量の削減	○	・エコドライブを推進する(事務所にエコドライブ10のチラシを掲示)(営業車、配送車へチラシ配布し意識を徹底)	△ ×	・各事業所での取組は実施されていました。 △「ガソリン」は目標未達成(目標達成率:96.2%) ×「軽油」は目標未達成(目標達成率:72.9%) ・今後もエコドライブを推進し、削減に取り組めます。 「灯油」は目標未達成(目標達成率85.1%)



○消灯シール、エアコン設定温度シール貼付け

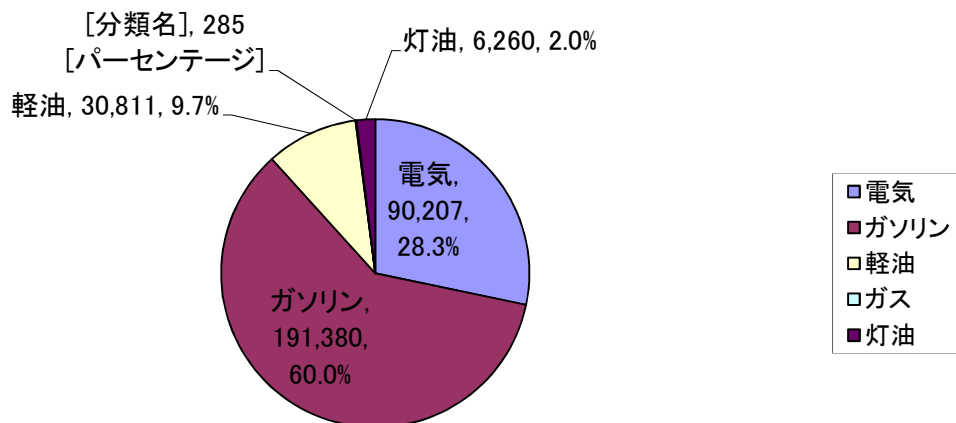


○大阪…倉庫照明を水銀灯から蛍光灯へ変更



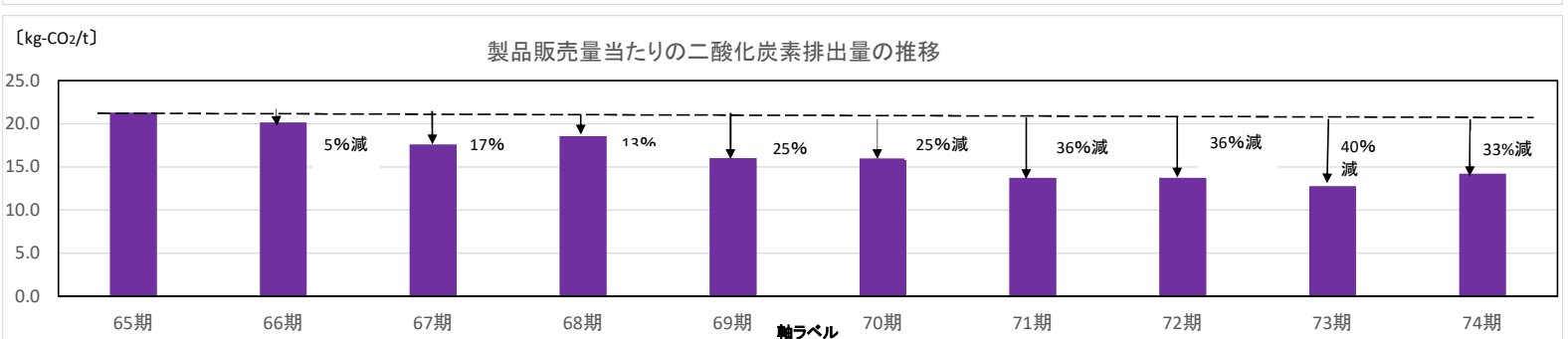
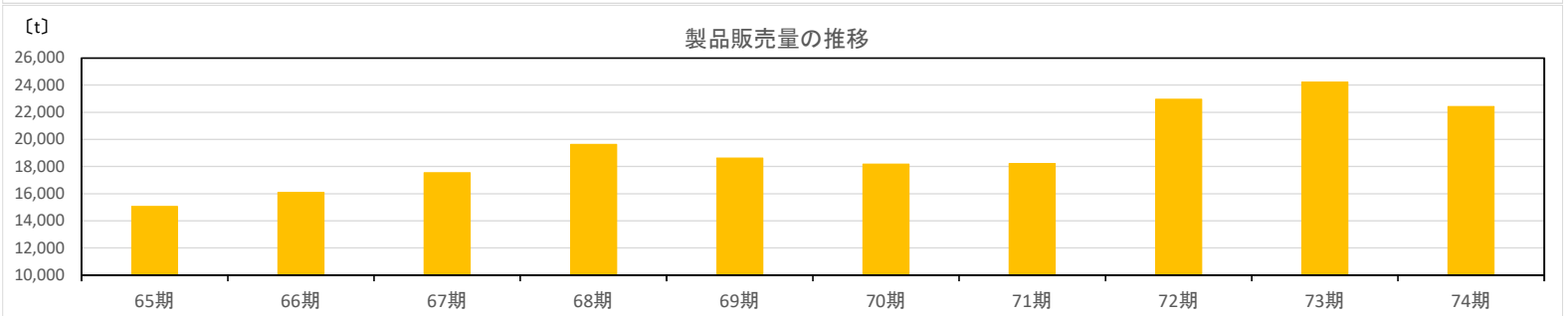
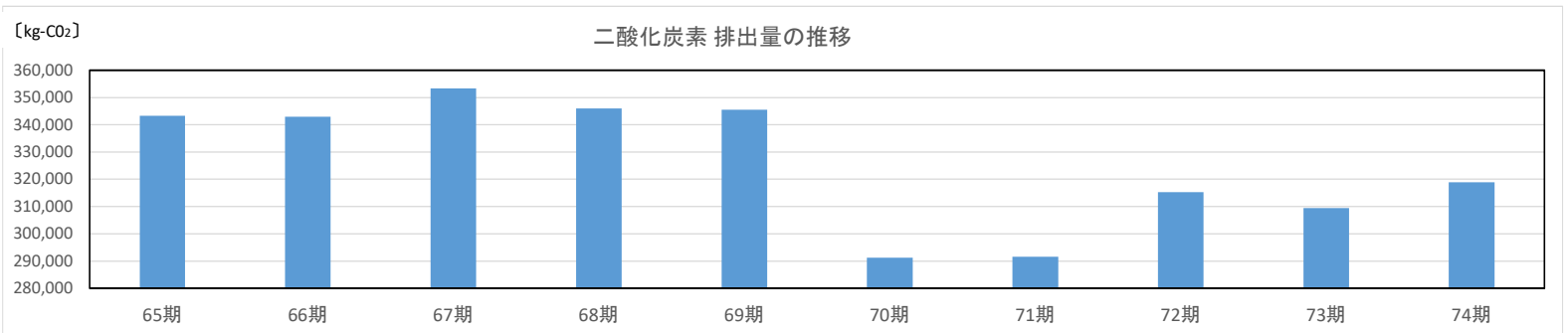
○エコドライブ10チラシ営業車配布

二酸化炭素排出量のエネルギー別内訳(合計:100%)
(二酸化炭素総排出量318,927kg-CO₂)



二酸化炭素排出量の原単位(製品販売量)評価

期	65期	66期	67期	68期	69期	70期	71期	72期	73期	74期
A 二酸化炭素排出量[kg-CO ₂]	343,296	342,887	353,378	345,928	345,499	291,228	291,534	315,262	309,457	318,927
B 製品販売量[t]	15,075	16,095	17,545	19,625	18,610	18,175	18,215	22,955	24,230	22,425
A [kg/CO ₂] / B [t]	21.3	20.1	17.6	18.6	16.0	16.0	13.7	13.7	12.8	14.2
65期比率	100%	95%	83%	87%	75%	75%	64%	64%	60%	67%



※第63, 64, 65期電力排出係数:0.374kg-CO₂/kwh
 ※第66, 67, 68期電力排出係数:0.528kg-CO₂/kwh
 ※第69, 70, 71期電力排出係数:0.347kg-CO₂/kwh
 ※第72, 73, 74期 電力排出係数:0.479kg-CO₂/kwh

(2) 廃棄物排出量の削減(目標:一般廃棄物第71期排出量の3%削減、リサイクル廃棄物第72期の2%削減)

取組対象	実施状況	活動計画	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
1 リサイクル化の推進	○	・一般ゴミ、産業廃棄物の分別を徹底する(リサイクル可能なものは必ず分別し廃棄する) ①紙ゴミは分別にてリサイクルで処理する ②缶、ビン、ペットボトルは分別にてリサイクルで処理する	△ ◎	・各事業所での取組は実施されていますがカタログ等の一括排出もあったため目標は達成出来ませんでした。(目標達成率:92.4%) ・リサイクル廃棄物は目標達成出来ました。(目標達成率:121.9%) ・今後もゴミ分別意識の徹底を図り削減に取り組めます。



○一般ゴミ、紙ゴミの分別



○産業廃棄物の分別(本社)

(3) 水使用量の削減(目標:第71期排出量の3%削減)

取組対象	実施状況	活動計画	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
1 節水活動をする	○	・節水活動をする(節水シール貼付けて節水意識を徹底)	○	・達成することが出来ました。(目標達成率:109.4%) ・今後も節水意識の徹底を図り削減に取り組めます。



○洗面所に節水シール貼付け

(4) 環境にやさしい製品の販売(三価メッキ製品の全社在庫比率を47%に上げる)

取組対象	実施状況	活動計画	達成状況	評価(今後の取組方向も含む)
1 環境にやさしい製品の販売(三価メッキ製品の在庫比率を上げる)	○	・PRチラシを配り販売促進する(グッツジョブ第5話「三価と六価」チラシを使用)	○	・大分・佐賀・熊本の目標達成率大幅に上がりました。(目標達成率:109.4%) ・今後も三価製品のPR活動を行ない、販売促進に取り組めます。



○グッツジョブ第5話「三価と六価」チラシ

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
- ・第74期事業活動に対して環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規制等	適用される事項(施設、物質、活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物・・・全社 産業廃棄物(廃金属、木くず)・・・福岡
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第一種特定製品「業務用エアコン」の簡易点検・・・全社
自動車NOx-PM法	対象地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用・・・大阪支店

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

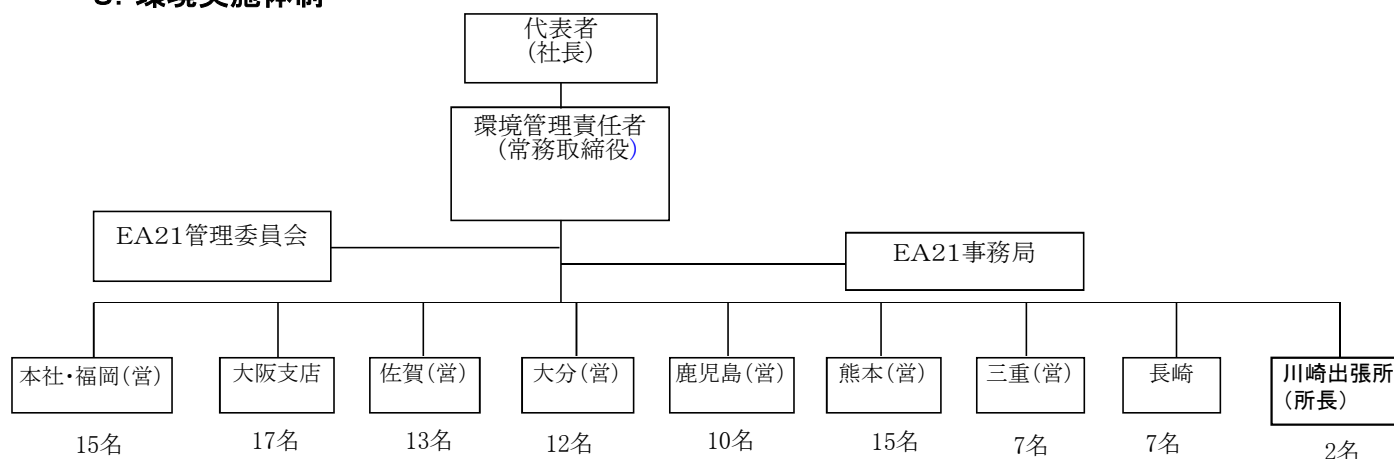
(1) 取組の全体評価

- ・環境経営目標の最大目標であるCO2排出量削減はわずかに達成できませんでした。
LEDと太陽光パネルの設置により電力使用は削減出来ましたが車両の増加によりガソリン・軽油の使用量が増加しました。
今後安全運転をより推進しより燃費向上に繋がるようにします。
- ・社員の環境に対する意識は高まっております。今後も一人ひとりが環境への自覚をもって行動するように努めます。

(2) 来期計画の見直し・指示

- ・環境経営方針の見直しはなく今後も継続して取り組みます。
- ・75期より環境管理責任者を常務中谷から福岡営業所・経理課長山田へ変更します。
- ・長崎営業所の新築移転、三重営業所移転による環境変化で両拠点は今後目標の見直しをします。
- ・災害発生等の緊急時に備え、全社的に緊急事態訓練を継続して実施します。
- ・今後も環境保全の取組を経営の重要課題と位置づけて環境活動を行ないます。

8. 環境実施体制



【役割分担表】

所属	役割、責任、権限
代表者 社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、情報、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営レポートの承認 - 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者 (常務取締役)	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
EA21管理委員会 (所長会議内)	- 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議 - メンバー：各所担当者(所長) 開催頻度：1ヶ月に1回
EA21事務局 (福岡経理部長) (各所営業事務)	- 環境管理責任者の補佐、EA21管理委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
各ブロック長 (福岡経理部長) (大阪支店長) (所長)	- 自ブロックにおける環境経営システムの実施 - 自ブロックにおける環境経営方針の周知 - 自ブロックの従業員に対する教育訓練の実施 - 自ブロックに関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自ブロックの特定された緊急事態への対応のための検討、手順書作成 - テスト、訓練を実施、記録の作成 - 自ブロックの問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加